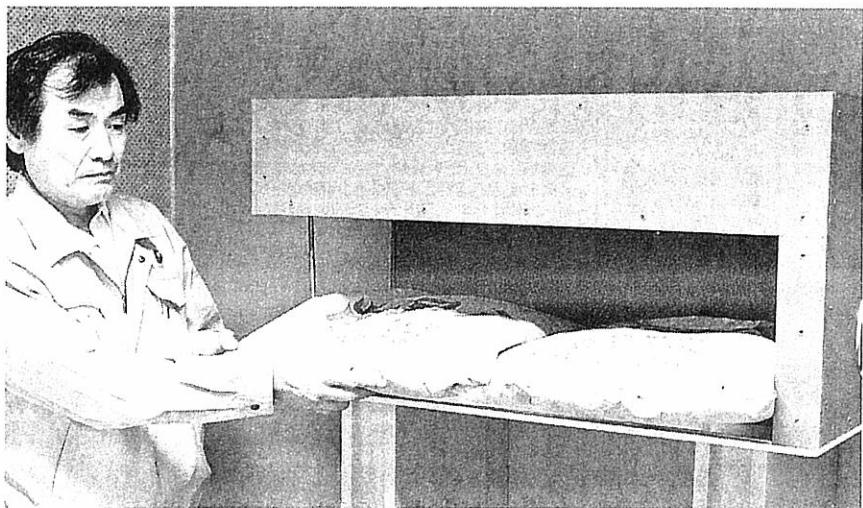


2011年(平成23年)8月5日(金曜日)



エアコン電力 炭袋で24%減

島根大、熱遮断効果を確認

島根大と建設会社

「出雲土建」(島根県
出雲市)は、天井と床

下に木炭が入った袋を
敷き詰めたマンション

で、エアコンの消費電

力が平均で約24%節約
できたとの実験結果を

発表した。7~9月に
エアコンが各家庭の電

力に占める割合は昼間

天井や床下に敷き詰め熱
を遮断してエアコンの節

電をもたらす炭袋

実験は空気中の水分
を出し入れして温度を
調節する機能を持つ
「調温木炭」が入った
袋を使用し、6月中の
市内のマンション計3棟
で実施した。その結果、
天井だけの場合で約11
%、天井と床下の両方

の場合は約24%の節電
が確認できた。

実験を行った島根大
の北村寿宏教授(熱工
学)らの説明によると、
マンションの天井板は

高く、1日当たりで計
算すると約10%の節電
が期待できるとしてい
る。

薄く、天井裏の空間な

ども冷やしてしまった
ために余分な電力を消費
していたが、炭袋が熱
を遮断するため室内だ
けを効率よく冷やすこ
とができたという。

北村教授は「設定温

度を1度上げると消費
電力量が10%下がると
されているので、2度
さを我慢せずにすみ熱
中症対策になる」と話
している。

度を1度上げると消費
電力量が10%下がると
されないので、2度
さを我慢せずにすみ熱
中症対策になる」と話
している。

度を1度上げると消費
電力量が10%下がると
されないので、2度
さを我慢せずにすみ熱
中症対策になる」と話
している。